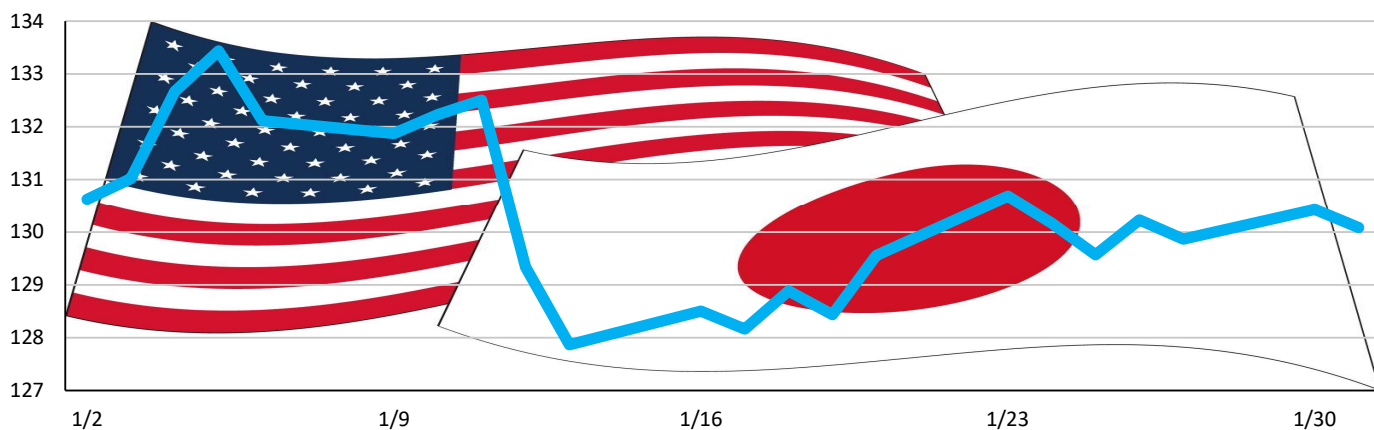


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**1月のドル円相場は134円後半～127円前半で推移。年始にドル円は130円を割り込んだものの、米FOMC議事録においてさらなる利上げが必要との認識となっていたことや良好な米雇用統計などで、134円台後半まで買い戻された。しかし日銀が金融政策決定会合で金融緩和の副作用を点検するとの報道や米消費者物価指数の上昇率が前月比マイナスとなったことでドル売りが加速し127円台前半に達した。そして注目の日銀金融政策決定会合で、事前予想の追加修正がなかったことで一転円安が進み131円台半ばとなったが、出口戦略への流れは変わらないとの見方が広がり、再び127円台半ばまで円高が進む荒い値動き。その後は米FOMCを控え買い戻しの動きも見られたが、130円を挟んだ持ち合い相場が続いた。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開：**注目の米FOMCでは、市場の予想通り利上げは継続したものの、利上げ幅が縮小されたことでドル売りの流れが強まってきた。パウエル米FRB議長は利上げ継続姿勢を示しているが、市場は利上げ打ち止めの時期をにらんだ動きに変化している中、日銀による金融政策の修正観測も台頭している。米経済指標発表等で短期的にドル買いの場面も想定されるが、大局は円買いドル売りの流れとなっていきそうだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
2 / 23 (木)	22 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
2 / 24 (金)	22 : 30	US	個人消費支出	☆☆☆☆
2 / 25 (土)	0 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
3 / 10 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
3 / 10 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
3 / 14 (火)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
3 / 15 (水)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。